



いまなお、闘い続ける元日本兵・奥村 和一
その体内には無数の砲弾の破片が…
“戦後も戦った日本兵”という苦い記憶を
六〇年以上も縛り続ける戦争の呪縛！

主人公・奥村和一さんは、旧中条町出身
新発田商業高校の卒業生でもあります。

私たちは上官の命令に従い、蟻のようにただ黙々と戦った

今も体内に残る無数の砲弾の破片。それは「戦後も戦った日本兵」という苦い記憶を奥村和一(わいち)(80)に突き付ける。かつて奥村が所属した部隊は、第2次世界大戦後も中国に残留し、中国の内戦を戦った。世界の戦争史上類を見ないこの“売軍行為”を、日本政府は兵士たちが志願して勝手に戦争をつづけたと見なし黙殺する。「自分たちは、なぜ残留させられたのか？」真実を明らかにするため中国に通い続ける奥村に、心の中に閉じ込めてきたもう一つの記憶がよみがえる。終戦間近の昭和20年、奥村は“初年兵教育”の名の下に罪のない中国人を刺殺するよう命じられていた。これは、自身戦争の被害者であり加害者でもある奥村が、“日本軍山西省残留問題”の真相を解明しようと孤軍奮闘する姿を追った世界初のドキュメンタリーである

日時 6月21日(土)午後6時～9時

場所 新発田市生涯学習センター 講堂

入場料 1,000円 (小・中・高生 500円)

上映後、池谷薫監督と主人公・奥村和一さんの対談があります

主催 「蟻の兵隊」上映実行委員会

後援 新発田市・新発田市教育委員会・新潟日報社

連絡先 新発田市豊町4丁目10-10 電話0254-23-6500